

一般質問通告表

平成24年第3回沖縄県議会(定例会)

07月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	島袋 大(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 国際物流拠点へのヤマト運輸参入について ヤマト運輸の親会社、ヤマトホールディングスの那覇空港国際物流ハブ参入について詳細をお聞かせください。</p> <p>2 県の税収について(平成24年度) 平成24年度当初予算について、前年度比で全体額と特に歳入について内訳をお聞かせください。その中で税収についてですが、税収が全体の12.7%ということですが、他県と比べて沖縄県の割合はどのようになっているのか、比較をお聞かせください。</p> <p>3 離島振興について 一括交付金を活用しての定住促進、教育環境の整備等の離島振興政策について具体的な振興策を伺う。</p> <p>4 離島学生用の寄宿舎(複合施設)について 離島支援の一つである「寄宿舎と交流機能を持つ複合施設について」、今年度の予算と施設の概要、供用開始までのスケジュールを伺う。</p> <p>5 国が離島出身高校生の居住費・通学費を補助する「離島高校生修学補助事業」の概要と県内の対象者、県・町村の取り組み状況を伺う。</p> <p>6 県総合運動公園改修スケジュールについて 今年度の一括交付金事業で計画されている県総合運動公園陸上競技場の改修計画を伺う。</p> <p>7 J1規格サッカースタジアムを含めた複合型スタジアム建設計画について 昨年度の「Jリーグ規格スタジアム整備基礎調査事業」を受けて、今年度の事業計画及び整備実現に向けた規模・立地決定等のスケジュールを伺う。</p> <p>8 農水産物の振興について 水産資源の県内取引が200億円より150億円へ下落したとの記事があるが、売上高50億円の減少は全漁業生産者を4000人として年間1人当たり125万円の収入減となり、ある地域では漁に出ても赤字となるためアルバイトをして燃料費を調達している状況であり、水産労働人口の減少に歯どめをかけるためには県のリードのもと取り組む必要があると考える。</p> <p>(1) 農林水産省が推奨している6次産業化の本県の取り組み状況について伺いたい。</p> <p>(2) 農水産物の生産から加工、販売まで一体化した手法を確立する必要があると考えるが、生産者の育成、販路の拡大にどのように取り組んでいるか伺う。</p> <p>9 児童福祉・教育・医療行政について</p> <p>(1) 福祉・医療現場において保育士や看護師等の人材確保の状況はどのようになっているのか。人材不足について原因を分析し、どのような対応がなされているか伺う。</p> <p>(2) 処遇改善や学資貸付制度の創設・拡充に基金の創設が必要と思うがどうか。</p> <p>(3) 平成24年度4月1日から設置した保育対策室の理由は何か伺う。</p> <p>(4) 保育士資格を取得した者が沖縄県知事に登録することの意義を伺う。</p> <p>(5) 昨年の新規登録者数と県内保育所への従事者数はどうなっているのか。</p> <p>(6) 昨年までの県内登録者数と保育所に従事していない人数は、また現在の実態把握は可能か、可能でなければ登録の更新制が必要だと思うがどうか。</p> <p>(7) 安心子ども基金保育所整備事業は何年度まで実施されるのか。また、保育現場から何カ園が希望し、基金を活用して何カ園増改築が可能なのか伺う。</p>			

- (8) 平成24年度市町村から安心子ども基金を活用して保育園増改築の軒数はどうなっているのか。また、申請件数、全保育園が増改築できるのか伺う。
- (9) 臨床心理士が正職員として採用され、市町村において配置されている実例はあるか伺う。その効果と課題はどうなっているのか伺う。
- (10) 発達障害や支援を必要とする子(気になる子)の早期発見、早期支援、継続支援することが子供たちや家族、保育教育現場などへの負担軽減につながると思うがどうか。

10 国民健康保険税の負担軽減について

- (1) 去る県議選挙で一部の政党が他府県では12県が自治体へ助成しているとのチラシ等が配布されていたが、どの府県でどのような制度なのか伺う。
- (2) 沖縄県の補助金で国保税負担軽減ができる制度はあるのか伺う。
- (3) 一括交付金の活用で国保税負担軽減はできるのか伺う。

11 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成24年第3回沖縄県議会(定例会)

07月10日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
2	17分	末松 文信(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 産業の振興について</p> <p>(1) 金融業務特別地区及び情報通信産業特別地区について</p> <p>ア 特区制度の現状と課題についての考えを伺う。</p> <p>イ 地域別の企業誘致及び雇用の実績と、その経済効果について</p> <p>ウ 名護市の特区重点整備地区(豊原地区)の活性化計画の推進について、どのような支援策を考えているか。</p> <p>(2) 本島北部地域の観光振興について</p> <p>ア 観光振興計画における北部地域の位置づけと、その役割がどうなっているか。</p> <p>イ 北部地域の観光振興を図る上で、その推進体制をどのように考えているか。</p> <p>ウ 「おきなわ北部観光推進協議会(やんばる会)」との連携や支援をどのように考えているか。</p> <p>2 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成24年第3回沖縄県議会(定例会)

07月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	前島 明男(公明県民無所属)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 嘉手納以南の米軍基地早期返還とオスプレイ配備反対等を訴えるため、年内の早い時期に訪米すべきと考えるがどうですか。
- (2) 今国会で消費増税案が衆議院を通過したことを知事はどう評価されますか。
- (3) 中国との文化経済交流40年を振り返って、どのように評価されますか。
- (4) 今後、あらゆる面で中国、東南アジアへ大いに目を向けるべきだと考えますが、どう思われますか。
- (5) 若者に夢と希望を与えるための企業誘致活動はどうなっていますか。(トップセールスとして)

2 子供支援について

- (1) 認可外保育園への給食を認可園並みにするための方策を伺う。
- (2) 児童、生徒の学校給食費を無償にする対策は何か。
- (3) 放課後児童クラブの保育料を低減化するために、もっと支援を拡充すべきだと考えるがどうか。
- (4) 児童虐待の現状と課題はどうなっているか。

3 高齢者対策について

- (1) 県内のシルバー人材センター設置率は36.6%、全国平均80.1%に比べて、なぜ低いのか。今後の対策は。
- (2) お年寄りにやさしいバリアフリー道路の計画策定が進まないのはなぜか。
- (3) 高齢者訪問支援活動推進事業の現状と課題はどうなっているか。
- (4) 地域で支え合う体制づくりの現状と課題は何か。
- (5) 高齢者の生活支援、家族介護支援体制の現状と課題は何か。
- (6) 高齢者の虐待防止対策と現状はどうなっているか。

4 防災対策について

- (1) 大規模災害が発生した場合、我が県ではどのような防災情報の周知方法をとる考えか。
- (2) 防災教育はどのように行われているか。
- (3) 避難行動のルートはつくられているか。
- (4) 防災避難所としての環境整備はなされているか。

5 一括交付金の活用について

- (1) 太陽光発電の普及に使えないか。
- (2) 新エネ開発の調査費(海流発電、地熱発電、風力発電等)に使えないか。
- (3) 大地震、大津波対策に使えないか。
- (4) 高校のない離島からの進学生に対する支援に使えないか。

6 その他

- (1) 税収アップのために、どのような対策を行っているか。県税各種ごとに御説明ください。

- (2) 各道路工事のスピードアップは図れないのか。(特にパイプラインの浦添、宜野湾線)
 - (3) 平成23年度の交通死亡事故45件中、16件がオートバイで、約35.6%を占めているが、極力減らす方法はないか伺います。
 - (4) 将来、海外からの観光客が大型クルーザーを利用して、大勢が来られることを考えれば、利便性を考慮して、若狭のバースから国際通りの安里まで、路面電車LRTを導入してはどうか。
 - (5) 美ら島沖縄大使をもっとふやして、大いに活用すべきだと考えるがどうか。
- 7 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成24年第3回沖縄県議会(定例会)

07月10日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
4	17分	又吉 清義(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 米軍基地に係る諸課題の現状と、それに対する解決策に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 今日までの時間的、経済的損失、弊害についてどのように把握し取り組んでおられるか。</p> <p>(2) 常に騒音に悩まされ、危険と隣り合わせを余儀なくされている9万余の市民の暮らしの肉体的負担、経済的影響等についてどのように把握し取り組んでおられるか。</p> <p>(3) 基地あるがゆえの都市計画構造については困難を極めているがどのように把握しているか。</p> <p>(4) これまで67年間宜野湾市民の受けてきた屈辱、苦しみ、弊害、経済的損失等を勘案すると、宜野湾市民9万余の生命、財産を守るためにも、解決するためにも、ぜひ宜野湾市と県が連携し、国への働きかけや県の支援など特別なそれなりの取り組み、行政整備はぜひ必要不可欠であると解するが、県の立場でその支援や取り組みに対して、どのようなバックアップ体制等が可能か。</p> <p>2 普天間飛行場への配備予定のMV22オスプレイ、基地の固定化の断固阻止と危険性除去に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 配備予定のMV22オスプレイのこれまでの事故原因の解明の情報と取り組みについて</p> <p>(2) 安全性の確保が保障されない機種での配備についての県の考え方と取り組みについて</p> <p>(3) 町のど真ん中に位置する世界一危険な基地の固定化は宜野湾市民に限らず、県民上げて決して許されることではないと解するが。</p> <p>(4) 日米両政府への危険性の除去、閉鎖、返還に向けた明確な取り組みはどのように進んでいるのか。</p> <p>3 海軍病院を核とした医療整備の取り組み、経済活性化、健康日本一を日指した取り組みについて</p> <p>(1) 来年春までに開業予定の海軍病院の規模(医師、看護師、職員等)、医療技術については、どのように把握しておられるか。また経済活性化に向けた取り組みはどのような事柄が考えられるか。</p> <p>(2) 北谷町に既存しているときの海軍病院の地域とのかかわり、インターン制度等についてどのようになっていたか。</p> <p>(3) 市民、県民に開かれた医療整備に向け、海軍病院の高度技術を活用した支援体制等も可能か。</p> <p>(4) 市民、県民の生命と健康を守り、日本一の健康都市をつくり上げ、開かれた医療整備に向け平和を発信できるアジア全体の医療に貢献できる医療構想の実現に向けた、宜野湾市と県が連携した取り組みや、支援対策などについて</p> <p>4 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成24年第3回沖縄県議会(定例会)

07月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	具志堅 透(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 沖縄縦断鉄軌道について さきの国、県の調査では名護までの調査となっているが、県土の均衡発展のため、鉄軌道を名護以北までの導入が必要不可欠であると思われるが、整備について県の考えを伺います。</p> <p>2 赤土対策について 沖縄の自然、とりわけ青い海は県の宝である。観光の振興と水産業の振興の面からも絶対に保全が必要であり、急務となっている。今、北部の海は少しの雨で赤土に汚染される現状である。県はどの程度把握しているか、その対策はどうなっているか伺います。</p> <p>3 本部港の整備について (1) 伊江村の観光振興の点から、整然とした北側駐車場の整備(立体を含む)が必要でありませう。整備ができないか伺います。 (2) 伊江村住民の荷さばき場は仮設テントで風雨にさらされた状態で荷物の搬入出を行っている現状であります。整備ができないか伺います。</p> <p>4 本部港への東京・大阪定期航路の運航について 一次産業の振興なくして北部の発展はない。そのため生産施設の整備、生産出荷及び販売体制の整備が必要である。本部港の冷凍冷蔵施設を活用する上で、農水産物の東京・大阪への出荷及び販売体制の確立を図るためにも東京・大阪定期航路の運航が必要である。試験的にでもできないか伺います。</p> <p>5 県道84号線(伊豆味線)の道路整備について 渡久地十字路からの県道84号線の歩道の幅員が狭く地域住民が大変困っている。渡久地港から渡久地十字路周辺へ観光客を導くプロムナードとして整備され、渡久地十字路周辺に観光客のアプローチができつつある。また、当該道路は記念公園へのアクセス道であり、大型バスなどの往来が多いことから、車両や歩行者の安全を確保するためにも早急な改良、歩道の拡幅整備、バリアフリー化が急務である。県の考えを伺います。</p> <p>6 名護東道路の延伸について 国道バイパスの名護東道路から本部半島(海洋博公園)への延伸道路として、整備が必要と考えるが、県の考えを伺います。</p> <p>7 東アジア選手権大会(プロ野球)の開催について 沖縄はプロ野球のキャンプ地のメッカとして定着している。さらなるキャンプ地としての定着、知名度をアップし沖縄観光発展に資するためプロ野球の東アジア選手権を開催できないか。</p> <p>8 伊是名・伊平屋両村における島間の公共交通(海路・空路・島間架橋)の整備について 伊是名・伊平屋両村の経済の活性化、財政の健全化について考えたとき公共交通の整備が必要である。 (1) 両村が夢のかけ橋として望んでいる伊是名・伊平屋架橋の実現に向け調査する考えがないか伺います。 (2) 伊平屋における空港建設については以前から要望が強く県としても前向きに検討していると思うが、進捗状況について伺います。</p> <p>9 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成24年第3回沖縄県議会(定例会)

07月10日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
6	17分	砂川 利勝(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 離島振興について</p> <p>(1) 離島格差是正に向けた県の取り組みについて</p> <p>ア 沖縄のガソリン税に係る軽減措置について</p> <p>イ 離島への石油輸送費補助の実績について</p> <p>ウ 県内のガソリン価格と輸送費補助のかかわりの実態について</p> <p>2 農業行政について</p> <p>(1) 県内農業に大打撃を与えるTPP参加について</p> <p>(2) 八重山における口蹄疫対策について</p> <p>3 医療行政について</p> <p>(1) 県立八重山病院の独立行政法人化について</p> <p>(2) 県立八重山病院の早期改築移転について</p> <p>4 観光行政について</p> <p>(1) 石垣島ゴルフ場建設について</p> <p>5 尖閣諸島について</p> <p>(1) 排他的経済水域確保の取り組みについて</p> <p>(2) 定住支援について</p> <p>(3) 漁港の整備及び灯台の建設、気象観測所や通信網の整備について</p> <p>6 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成24年第3回沖縄県議会(定例会)

07月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	新垣 良俊(自民党)	知事 関係部長等

質問要旨

1 離島・過疎地域の振興について

(1) 住民生活基盤の整備について

ア 粟国港の整備について

那覇 粟国間を1日1往復するフェリー粟国は、平成21年実績で55日間欠航し、さらに港湾内のうねりで11日間の繰り上げ出航が起きております。他の離島航路が軒並み90%以上の運航率であるにもかかわらず、粟国村の運航率が85%前後と低迷している要因は、強い南風に対応できない港湾にあると言わざるを得ません。フェリーの出入港の安全性の確保と粟国村の振興発展並びに住民生活の上からも早急に整備すべきであるが、県の考えを伺いたい。

イ 粟国空港の拡張整備について

粟国空港の定期便が運休してから3カ年がたちました。定期便の再開には空港の拡張整備が必要であることは認識しておりまして、多くの村民が早期の空港拡張整備の実現を望んでおります。現在どういう状況にあるのか、県の取り組みについて伺いたい。

ウ 渡名喜村漁港の第2沖防波堤の現状復旧工事について

昨年5月の台風2号で被害を受けた第2沖防波堤は大きく傾いた状況にあり、早急に復旧工事に着手しないと漁船及びフェリーの出入港の安全性の確保が難しくなると思うが、対応策について伺いたい。

エ 小規模離島への生活物資の輸送コストは割高の状況にあるが、離島住民の生活コストの軽減を図ることは、住民の経済的負担の軽減はもちろん、若者の定住にもつながるものと思われま。生活物資の輸送費について、沖縄振興一括交付金で支援することはできないか伺いたい。

オ 平成22年度、23年度に社会実験事業として実施された小規模離島の航空路利用活性化事業は、自治体や住民から大変喜ばれています。平成24年4月1日からスタートした「沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業」については、離島振興と定住条件の改善を図るためにも重要な制度である。航路の場合、事業の対象者が離島住民と出身高校生になっているが、元住民と観光客にも軽減を実施する考えはないか伺いたい。また、久米島町の場合、航空路の対象者が住民だけになっているが、出身高校生、観光客にも広げる考えはないか伺いたい。

カ 北大東村においては、昭和47年から農業基盤整備事業を導入し、区画整理及び畑かん施設については一定のめどがついてきたところである。基盤整備のめどが立ち、そして南大東漁港北大東地区が平成26年度に完成の予定である。県として、今後どのような事業で村の振興発展に取り組んでいくのか、企画部、農林水産部、そして土木建築部に伺いたい。

2 農業振興について

(1) 沖縄型農業共済制度推進事業について

沖縄は台風等による農業被害が多く、過去20年間の年平均農産被害額22億2000万円とされている。農業共済制度は、農業者の掛金負担を無理なく誘導し安定的な保険母集団を確保するため、共済掛金の一部を国が負担しているが、国庫負担割合は全国一律となっており、本県では共済掛金率の高さから農業者の共済掛金負担が重く、共済加入率は低迷しており、災害発生時に農業共済制度の機能が発揮できない。今回、課題解決を図るために沖縄振興一括交付金で沖縄型農業共済制度推進事業がスタート

することになるが、事業の取り組みについて伺いたい。

(2) 農業就業者支援について

沖縄振興一括交付金を活用した沖縄県新規就農一貫支援事業で新規就業者を支援し、農業の担い手の育成と定着を図る計画がされているが、事業の概要について伺いたい。

(3) イモゾウムシ等根絶防除事業について

2001年度から久米島町で実施している芋類などの特殊病害虫のイモゾウムシ等根絶防除事業で、アリモドキゾウムシの最終確認調査が始まるが、10年余かけて根絶させた県の努力に敬意を表したいと思います。最終確認調査の期限と方法について伺いたい。また、イモゾウムシの根絶に向けての取り組みがどうなっているか伺いたい。

(4) 沖縄食肉価格安定等特別対策事業について

平成2年度に牛肉輸入自由化対策として、財団法人沖縄県畜産振興公社に造成してあった基金(105億円)は沖縄県の立ちおくれた食肉生産基盤の飛躍的な改善を図るため積み立てた基金であります。平成27年度までに基金を取り崩して事業を実施することになるが、次のことについて伺いたい。

ア 肉用牛、養豚、食鶏が基金の対象であるが、内訳はどうなっているか。

イ 特に、施設が老朽化しており、改築等の整備に費用がかかるが、重点的に施設整備を図る考えはないか。

3 土木建築行政について

(1) 那覇広域都市計画区域について

ア 沖縄県では7つの都市計画区域があるが、市街化区域、市街化調整区域と区域区分の線引きがされているのは那覇広域都市計画区域だけである。区域区分を設定している理由は何か伺いたい。

イ 那覇広域都市計画区域は、5市5町2村が範囲の都市計画区域である。当該区域は那覇市を中心にして線引きがされているため、他の市町村では区域区分の設定が開発に影響が出ている。区域区分をなくし、未線引き土地計画区域にする考えはないか伺いたい。

ウ 都市計画法においては、市街化区域、市街化調整区域の制度を担保する措置として、あるいは宅地造成に一定の水準を確保するための手段として、これらの区域において行われる開発行為を知事の認可にかからしめ、区域区分に応じた基準に基づき許可または不許可にするという「開発許可制度」が規定されている。区域区分されていない未線引き都市計画区域の開発行為についてはどうなのか伺いたい。

(2) 県道東風平豊見城線の早期整備について

県道東風平豊見城線は八重瀬町友寄から豊見城市豊崎を結ぶ9.2キロメートルの幹線道路であります。当該道路は、八重瀬町及び南城市と那覇市・豊見城市を結ぶ産業振興や地域間の交流には欠かせない重要な路線である。上田交差点から八重瀬町までの4.5キロメートルの整備の取り組みについて伺いたい。

4 文化観光スポーツ行政について

(1) 沖縄県指定無形文化財(空手・古武術)保持者の選定について

ア 平成9年8月に第一期の保持者3名、平成12年9月に第二期の保持者6名の先生方が選定されました。沖縄空手界の発展を考えたとき、第三期の保持者の選定を早期にすべきだと思いが、県の考えを伺いたい。

イ 保持者の選定については選定条件があると思うが、保持者の選定がおくれている理由について伺いたい。

(2) 空手道会館(仮称)の建設について

沖縄伝統空手を独自の文化遺産として保存・継承・発展させるとともに「空手の発祥地沖縄」を国内外に発信する拠点として整備することを基本方針としているが、建設場所、施設規模等はどうなっているか伺いたい。

5 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成24年第3回沖縄県議会(定例会)

07月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	上原 章(公明県民無所属)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 一括交付金について

- (1) 交付要綱の内容及び県が求めた要望に即しているか伺う。
- (2) 市町村の負担分支援が必要と考えるが、対応を伺う。

2 産業振興・雇用対策について

- (1) 一括交付金を活用した産業振興・雇用対策の主な事業及び効果を伺う。
- (2) 「農林水産物流通条件不利性解消事業」の開始及び手続を伺う。
- (3) 「沖縄ソフトウェア信頼性確保支援事業」の成果を伺う。
- (4) 観光関連企業(特にホテル等)の質の向上を図るため、環境に配慮したISO14001やセキュリティマネジメントシステム等を構築するISO27001の認証取得支援事業を検討できないか。

3 土木行政について

- (1) 県営団地の老朽化対策(剥離等)及び増設は喫緊の課題であり現状と今後の取り組みを伺う。
- (2) 県営団地の共益費を県が徴収する仕組みをつくれぬか。
- (3) 国際通りの安全及び美化対策が必要と考えるが、対応を伺う。

4 福祉・医療行政について

(1) 子宮頸がん予防ワクチン接種事業について

- ア 本県の学年別・地域(市町村)別の接種率はどうか(平均、最高値、最低値)。
- イ 接種しなかった理由は何か。
- ウ 厚生労働省は、定期接種の方針を示しているが、その際、財源については国が負担すべきであり、国へ求めるべきだと考えるが見解を伺う。
- エ 患者の方々から、学校現場から要望があれば、実体験としての講話をして啓発に協力したいとの申し出があります。必要と考えるが見解を伺う。

(2) 妊婦検診について

- ア 昨年12月に国から同検診の調査結果を踏まえ、安心して妊娠・出産ができるよう、市町村への周知徹底を図る通達が出されているが、県内の状況について把握されているか伺う。
- イ 上記の点を踏まえ、各市町村への周知は行っているか。

(3) 子育て支援について、新しい沖縄振興特別措置法に、子供や青少年を支援する内容の条文が1つ追加されました。それを受けて見解を伺います。

- ア 母子生活支援施設及び夜間保育の拡充・増設が必要と考えるがどうか。
- イ ファミリー・サポート・センター利用料の無料券(ていーだチケット)への助成について

(4) 障害者虐待防止法施行について、同法律は昨年6月に成立し、本年10月施行となっている。都道府県においては、障害者権利擁護センターの設置を含むさまざまな事項が示されているが、その体制及び整備状況はどうなっているか。

- (5) 県立八重山病院の老朽化・狭隘化は極めて厳しく、建てかえが必要と考えるが、対応を伺う。

5 教育・文化行政について

(1) 特別支援学校の支援及び教員・専門免許について

- ア 盲学校への重複障害支援のための看護師配置が必要と考えるが、対応を伺う。
- イ 文科省の最新の調査で、本県の免許保有率は全国最下位(55%)であった、理由と今後の対応について伺う。
- ウ 保有率を高めるための具体的な中期目標を決めているか伺う。

(2) 文部科学省は、来年度から高校の新学習指導要領で英語の授業は原則英語で話すことにしている。英語教育及び語学教育強化は本県の人材育成、「沖縄21世紀ビジョン」の具現化を図るものと考えます。取り組みはどうなっているか。

(3) 人材交流、留学支援の取り組みを伺う。

(4) 「離島児童・生徒支援センター(仮称)」の内容及び実施計画を伺う。

(5) 学校現場からスポーツや文化活動の県外等への派遣費支援の拡充が求められているが、現状と今後の対応を伺う。

(6) 2010年11月、本県の「組踊」がユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。画期的なことであり、以下の点を伺います。

- ア 国の文化芸術基本法には、青少年の文化芸術活動の充実がうたわれ、文科省においても、本物の舞台芸術や伝統文化に触れ、豊かな感性と創造性をはぐくむことがうたわれています。本県において上記の演目が青少年へ上映される機会はどのくらいあるのか(全体の何割の学校が鑑賞できているか)。
- イ 経済的事情で入場料を払えない子供たちが多いことから、「生徒のための組踊鑑賞教室」に応募できない学校もあると伺っている。子供たちにひとしく鑑賞の場を提供するためにも、県として何らかの補助ができないか。
- ウ 「生徒のための組踊鑑賞教室」は、年4日8公演のみである。これだけでは全県の学校生徒が鑑賞できるわけがない。県としての見解、及び財政支援を行い、鑑賞の機会を拡充することはできないか伺う。

6 農連市場再開発について進捗状況を伺う。課題と対策はどうなっているか。

7 我が会派の代表質問との関連について